

兵庫県で確認された野生いのししの豚熱感染に係る対応について

（ 令和3年4月19日
畜産課 ）

令和3年3月14日（日）に発見された死亡いのししに、兵庫県では初めて豚熱の感染が確認されたことから、国において同月17日に開催された牛豚等疾病小委員会で、鳥取県及び岡山県両県のいずれかで豚熱の感染が確認された場合は、本県をワクチン接種推奨地域に設定することが決定された。

1 国内の豚熱発生状況

- (1) 飼養豚 平成30年9月岐阜県での本病発生以降、11県の農場等において65事例発生
- (2) 野生いのしし 東北地方から関西地方の24都府県で感染を確認

2 兵庫県での野生いのしし感染確認事例

- (1) 確認地点：兵庫県丹波市春日町
- (2) 確認頭数：2頭（成獣）
- (3) 確認月日：3月14日（感染判明月日：3月16日）

3 兵庫県の対応

- (1) 豚・いのしし飼養施設（59戸）について異常の有無を確認
- (2) 防疫対策を徹底するため、全飼養施設において消石灰等による消毒を実施
- (3) 感染確認地点から半径10km圏内で捕獲した野生いのしし、当該いのしし肉等を圏外へ持ち出さないよう、市町及び猟友会等を通じて自粛要請
- (4) 飼養豚等への豚熱ワクチン接種（令和2年6月15日～）
- (5) 県東部の山林を中心に野生いのししへの経口ワクチン散布（令和2年10月29日～）

4 国及び他県の対応

国は、本病が確認された県及び隣接県をワクチン接種推奨地域に設定し、飼養豚への豚熱ワクチン接種を可能としている。

兵庫県で初めて野生いのししの豚熱感染が確認されたことから、隣接している鳥取県及び岡山県をワクチン接種推奨地域に設定し、飼養豚のワクチン接種の実施及び野生いのししへの経口ワクチン散布の準備が進められている。

5 今後の対応

- (1) 本県がワクチン接種推奨地域に設定されることに備え、県内養豚場におけるワクチン接種プログラムを策定するとともに、自然環境課と連携し経口ワクチンの散布を含む野生いのしし対策の体制を整備する。
- (2) 県内の豚等飼養農場45戸に対し、国内での豚熱の発生等に関する情報提供を行うとともに、農場での部外者の立入制限及び野生動物の侵入防止対策等、飼養衛生管理基準の遵守徹底を図る。
- (3) 死亡及び捕獲いのしし等の検査を行い、本病の県内への侵入の有無をモニタリングする。
- (4) 県内の農場で飼養豚に異常が認められた場合は、迅速な病性鑑定を行い、万一の場合は、まん延防止対策を徹底する。

6 県内の豚等飼養農場の状況

現在までのところ、異常の報告はない（令和3年4月18日時点）。